

令和元（2019）年度 登録コンクリート圧送基幹技能者認定試験
合格基準および総評について

令和元年 10 月 31 日

登録コンクリート圧送基幹技能者認定委員会

【合格基準】

択一式問題	25 問、50 点満点
計算問題	4 問（解答数計 15 題）、30 点満点
記述式問題	問題 1（800 字）、13 点満点 問題 2（400 字）、7 点満点

- ① 択一式問題、計算問題、記述式試験の合計得点数が 50%(50 点)以上
 - ② かつ、択一式問題の得点数が 60%(30 点)以上
 - ③ かつ、計算問題の得点数が 10 点以上
 - ④ かつ、記述式試験の合計得点数が 50%(10 点)以上
 - ⑤ かつ、記述式問題 1 の得点数が 50%(6.5 点)以上
 - ⑥ かつ、記述式問題 2 の得点数が 50%(3.5 点)以上
- 以上①～⑥の得点数をすべて満たした者を合格とする。

受験者数 67 名 合格者数：40 名 合格率：59.7%

【総評】

登録コンクリート圧送基幹技能者認定講習会に参加された皆さまの積極的な姿勢に、技術を習得しようとする高い意欲を感じました。本年度も熱心な受講生が多く、3 日間の講習は皆さまの知識の向上に寄与したものと思います。合否判定は、講習を受ける姿勢ではなく、試験の結果で判定しました。一部の試験が大変よくできていても、一つの結果が判定基準を満たしておらず、残念な結果となった受験者もいます。資格認定には、すべての講習内容についての理解を必要としています。再度のチャレンジを期待しています。なお、各試験問題の答案を分析した結果について、認定委員会の見解を以下にまとめましたので、今後の参考にしてください。

- ・ 択一式問題については、講義をよく聞き理解できていることが確認できました。ただし、圧送の料金体系や経費の内容について少々理解が足りないことが感じられました。登録基幹技能者は原価に関する知識を持つことも必要です。講習テキストをよく学習し、再度のチャレンジに備えて下さい。
- ・ 計算問題については、圧送計画の実務に必要なものですが、理解されていない方が多いと感じました。圧送作業に必要な計算に関する知識の修得を心掛けてください。
なお、事前に過去の試験問題にチャレンジすることも重要です。得点の低かった方は、受

験に向けた準備が足りないと感じられました。登録基幹技能者に必要な計算の知識は、3日間の講習を受けただけで習得できるものではありません。過去の問題や今回の講習で配布された事前課題、講習中に行った自由研究に取り組み、理解していれば解ける試験問題です。これらに何度も取り組み、再度のチャレンジに備えて下さい。

また、これから登録基幹技能者を目指す皆さまにおかれても、受験に向けて過去の問題や「最新コンクリートポンプ圧送マニュアル」で事前の学習に努め、自分が分からない箇所・質問したい箇所について事前に整理をした上で、講習に望むようにしてください。

- ・記述式問題については、字数が書けているものの、出題された項目（暑中コンクリート、登録基幹技能者としての対策）について書かれていない答案がいくつかありました。また、書かれている対策が、登録基幹技能者としてふさわしくない内容のものがあり、これらを合格とすることはできませんでした。

このほか、800字以内の問題1に時間を要してしまい、400字以内の問題2をきちんと書くことができなかつた方（字数が大幅に足りない、途中で終わってしまっている）も見受けられました。

択一式問題が高い得点であっても、記述式問題の答案が書けておらず残念ながら不合格となった方もいます。登録基幹技能者の業務は、現場や元請会社への提案力が必要とされることから、講習中に配布した文書の書き方の資料を参考に、過去に出題された問題で訓練を重ね、再度のチャレンジに備えて下さい。

また、これから登録基幹技能者を目指す皆さまにおかれても、事前に過去の問題にチャレンジして、受験に向けた答案練習をしっかりと積んでほしいと思います。

- ・試験の合格者にはさらなる研鑽を積まれることを希望するとともに、残念ながら今回不合格となった方々には、次年度に再度のチャレンジを期待しています。追試試験だけでなく、もう一度講習から受け直すことも合格への大きな近道ですので、どうかご一考をお願いいたします。